

平成 21 年 9 月 25 日

知識情報・図書館学類の卒業研究指導教員決定方法について

平成 22 年度卒業研究のための指導教員を以下の日程・方法で決定します。

- ・ 教員別の卒業研究指導方針・定員の公表（9/25）
- ・ 個別面談の解禁（10/19～）
- ・ 研究室登録システムで第 1 希望と第 2 希望の教員を選択。期間中は何度でも変更可能（10/26～11/6）
- ・ 定員を超えた場合、教員が選考方法にしたがって指導学生を決定（11/11）
- ・ 第 1・第 2 希望とも選考から漏れた場合、希望をふまえて指導教員を斡旋

指導教員の決定においては以下の点に留意してください。

- ・ 今年の 4 月時点で修得単位数が 45 単位未満だった、もしくは主専攻を選択しなかった 3 年次生は指導教員決定に参加できません。
- ・ 主専攻担当教員および他主専攻・他学類から当該主専攻の卒業研究を補助する教員（協力教員）から指導教員を選べます。
- ・ 指導方針をよく理解して登録してください。「受け入れの必須条件」を満たさない登録は無効です。
- ・ 希望者数が定員以下なら、主専攻担当教員は必ず指導を受け入れます。状況によっては定員を超えて受け入れることもあります。
- ・ 協力教員の定員は「0～2」のように表示しています。協力教員は希望者が定員以下でも受け入れられないことがあります。また、定員を超えた受け入れはできません。
- ・ 研究室選択を支援するため、公開ゼミ、個別面談など様々な方法で研究室の紹介が行われます。どのような方法をとるかは個々の教員で異なります。
- ・ 登録期間中に教員は内定を出せますが、内定は教員と学生との「必ず受け入れる」「第 1 希望で登録する」という私的な約束事で、学類として定めたルールではありません。
- ・ 学生の希望に対して、それならば指導できると教員が発言・約束することがありますが、それは「内定」ではありません。あなたの関心・テーマが教員の指導可能な研究領域に収まることを確認しただけです。
- ・ 11 月末に仮配属が行われます。12 月から 3 月までのプレ卒業研究を経て、来年 4 月に卒業研究を履修登録することで、正式な研究室配属となります。
- ・ 来年 4 月時点で卒業要件上の修得単位数が 90 単位未満の場合、「卒業研究」の履修登録はできません。仮配属もこの時点で解消し、卒業研究における指導教員は来年度に改めて決定しなおします。
- ・ 指導教員が他主専攻や他学類の教員であっても、発表会などは学生の所属する主専攻で行います。